

# 2020 年度一般社団法人静岡県精神保健福祉士協会 定時社員総会 議案書

## 議 事

- 報告事項 1 2019 年度静岡県精神保健福祉士協会事業報告及び収支決算に関する件
- 第 1 号議案 2019 年度事業報告に関する件
- 第 2 号議案 2019 年度収支決算報告に関する件
- 第 3 号議案 2020 年度事業計画に関する件
- 第 4 号議案 2020 年度収支予算に関する件
- 第 5 号議案 その他の議案
- 報告事項 2 公益社団法人日本精神保健福祉士協会支部活動報告

一般社団法人静岡県精神保健福祉士協会

## 議 事

### 【報告事項1】

#### 2019年度静岡県精神保健福祉士協会 事業報告及び決算報告（法人化前までの事業報告）

#### 1. 定期総会

会員数 487 名のうち出席者 88 名、委任状 208 名の合計 296 名で総会成立。

日時	2019年5月26日（日）	場所	グランシップ
内容	<p>2018年度事業報告・決算報告及び会計監査報告、役員選挙結果報告</p> <p>2019年度事業計画（案）予算（案）等の審議、会費変更に関する件</p> <p>一般社団法人静岡県精神保健福祉士協会設立に伴い本協会を解散し財産及び事業の一切を同協会に無償譲渡する件</p> <p>&lt;議事内容抜粋&gt;</p> <p>総会の開会に先立ち、2018年に亡くなった故・柴山久義氏に参加者全員で黙祷。</p> <p>○第1・2号議案については賛成多数で可決、質疑等特になし</p> <p>○監事より、以下の点について話あり。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会員は会費納入の義務を自覚していくように</li> <li>・会員の6～7割が女性だが、女性理事が1名のみ。女性会員の声がどこまで届いているのか疑問</li> <li>・女性の声を多く吸い上げる、広くいろいろな人の意見を聞くことが重要</li> <li>・ワークライフバランスの課題</li> <li>・女性にも理事の役割を担ってほしい</li> <li>・個人の意見ではなく、協会としての意見。責任を持って発言していくことが必要</li> <li>・委員会活動等、非常に活発に行われている</li> </ul> <p>○第3号議案については賛成多数で可決。三役体制等について澤野会長より報告あり</p> <p>○第4号議案で澤野会長より今後の協会体制について、以下のような説明があった</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般社団法人化を機に、事務局体制の見直しを行う</li> <li>・5月より社会福祉会館シズウエルの一角を借りることができた。法人の事務局としてシズウエルを登記する予定</li> <li>・シズウエルの借用に際しては、社会福祉士会の会長が直接県庁と話し合うなどご尽力をいただいた</li> <li>・現在は事務局機能を会計や会員管理等を分担して理事が担っているが、本来業務がある中でかなりの負担を強いている。法人化に向けてもかなりの事務作業等の負担があり、その多くを事務局長が担うこととなった</li> <li>・このような状況があり、今後専属の事務局員を雇用する</li> <li>・事務局員の雇用等体制整備のため、現在の会費での運営は困難になることが予想され、第6号議案の会費値上げの提案に繋がっていく</li> </ul> <p>○第5号議案では会計担当を今年度より平野理事が担当することが報告される。会員より以下のような質疑あり</p> <p>（質疑）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今回の予算案の表現方法について。現在の協会としては4月～6月の予算となる。一般社団になるのであれば繰り越しではなく繰り出しになるのでは。一般社団法人化の際に繰り越しの形にする方がいいのではないか。収支決算上問題なければそのままでも構わないと思うが。</li> </ul> <p>（理事からの回答）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・司法書士と準備していくなかで会計処理について確認したところ、設立前は任意団体、残りを法人の予算として別に立てるよう言われた。残った金額が引き継がれるという形にしている。実際任意団体の数か月分の予算を別で立てることも考えたが、複雑すぎて困難であった。会計処理上は問題ないとのことだったので、この形でお示しした。決算報告は次年度法人化後の団体総会の中で行う。すでに存在しない団体の</li> </ul>		

<p>決算報告となるため、報告のみとなることをご了承いただきたい</p> <p>○第4・5号議案については賛成多数で可決</p> <p>○第6号議案で会費変更に関する提案がされる。提案に至った経過について、以下のような説明あり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第4号議案でも触れたが、会員数は500名近くなり、事務作業は本来業務を持ちながら片手間にできる量ではなくなっている</li> <li>・昨年度からの繰り越しが100万円以上あるにも関わらず値上げ、ということで違和感を持つ会員もいるかもしれないが、事務局員の雇用や事務局の借用等、これまでなかった定期的な支出が増える。現在の会費での収支のやり繰りは困難であり、繰越金を切り崩していかなければならなくなる状況</li> <li>・今年度は運営できるが次年度現在の会費での安定的な運営を続けることは困難が予想されるため、次年度より会費を2,000円値上げし、年会費7,000円をお願いしたい</li> </ul> <p>○第6号議案については賛成多数で可決、質疑等なし</p> <p>○第7号議案については賛成多数で可決、質疑等なし</p>
---

## 2. 理事会、委員会

### 1) 理事会

理事会	2019年4月13日、5月12日、5月26日
三役会議	理事会前に毎回開催

### 2) 研修委員会

日程：2019年4月7日、5月12日

## 3. 関係機関、関係団体との連携及び社会活動の実践

### 1) 各種機関・団体との情報交換及び連携

#### (1) ソーシャルワーク関係団体との連携

内容	日時または回数	参加者
一般社団法人静岡県社会福祉士会定時社員総会	2019年5月18日	澤野文彦
静岡県医療ソーシャルワーカー協会総会	2019年5月25日	澤野文彦
静岡県ソーシャルワーク関係団体連絡協議会	1回	前林勝弥、田中幸子

#### (2) 県弁護士会・司法書士会・法テラス静岡等との協力・連携

内容	日時	参加者
公益社団法人成年後見センター・リーガルサポート静岡支部通常総会	2019年5月11日	澤野文彦
静岡県司法書士会定時総会	2019年5月25日	澤野文彦

#### (3) 行政政策機関等との連携、意見交換、会議への参画

内容	日時または回数	参加者
静岡県自立支援協議会地域移行・定着部会事務局会議	2回	澤野文彦、菅原小夜子、山口雅弘
成年後見制度理解促進ワーキング	2回	山口雅弘
地域包括ケア推進ネットワーク会議	2019年5月7日	山口雅弘

#### (4) 富士市難病患者総合相談会

主催：富士市難病団体連絡協議会      日時：2019年6月2日      派遣者：川島茉己（鷹岡病院）

## 4. 体制整備

### 1) 一般社団法人化

一般社団法人化にむけ準備を行った。

2019年6月4日に一般社団法人静岡県精神保健福祉士協会を設立。これにともない任意団体として活動してきた静岡県精神保健福祉士協会は解散となった。

## 2) 公益社団法人日本精神保健福祉士協会との一本化

数年間の準備・移行期間を設けて、日本協会と県協会的一本化を図ることとした。新規入会者については、日本協会への入会を県協会への入会要件とした。

現会員については、5年間はみなし期間として正会員へ移行した。(みなし期間：2025年3月31日まで)

## 3) 事務局体制の整備

静岡県総合社会福祉会館を主たる事務局として法務局に登録した。非常勤の事務局員の配置に向け準備を行った。事務局長が所属する機関を従たる事務局とし、対外的な連絡窓口として継続することとした。

## 5. 一般社団法人静岡県精神保健福祉士協会設立総会

日時	2019年5月26日(日)	場所	グランシップ
議事内容	<p>法人化された団体の設立前であるため、すべての議案について設立発起人からの報告という形で進行。各議案とも採決はとらず、質疑応答のみ行った。</p> <p>○第1号議案については質疑なし</p> <p>○第2号議案については、以下の質問あり (質問)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「第10条・第12条 除名規定」について、「総会の特別決議で除名をする」と書いてあるが、どのように行うと考えているか。問題が発生した時に、誰がどのような流れで決議をおこない、除名決議を行っていくのか。</li> </ul> <p>(質問への回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第10条の規定に該当するに至った会員、理事会ではなく総会にて決議する。倫理委員会・懲罰委員会等の設置も必要。理事会の中で具体的な対応・流れを今後検討していきたい</li> </ul> <p>○第3・4号議案については質疑等なし</p> <p>○第5号議案について、以下の質問あり (質問)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新体制図(案)に記されている 地域体制整備部について、相談WGと医療WGが分かれていることについて、具体的なイメージがつかない。どうして分かれているのか。</li> </ul> <p>(質問への回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一緒に行うのが本来であるが、課題を明確化するためにあえて医療と相談でワーキンググループを分けた</li> </ul> <p>○第6・7号議案については質疑等なし</p>		

## 6. 一般社団法人 静岡県精神保健福祉士協会 設立記念式典・記念講演

日程	2019年5月26日(日)	場所	グランシップ
記念式典	<p>参加者：来賓26名</p> <p>式次第：開会の辞、会長挨拶、ご来賓祝辞、ご来賓紹介、閉会の辞</p>		
記念講演	<p>ソーシャルワークの使命～精神保健福祉士のあるべき姿とは～</p> <p>講師：柏木一恵氏(公益社団法人日本精神保健福祉士協会 会長)</p>		

平成31年度 決算（一般社団法人化前）

自 平成31年4月1日 至 平成31年6月3日

総収入3,507,201円

総支出3,507,201円

収入の部

科目	平成31年度予算	平成31年度決算	備考
会費	2,330,000	1,613,000	
当年度会費	2,235,000	1,565,000	5,000円×313名
過年度会費	55,000	20,000	5,000円×4名
入会金	40,000	23,000	1,000円×23名
会費前納	0	5,000	5,000円×1名
事業費	1,300,000	270,000	
総会時研修	0	270,000	情報交換会参加費
初任者研修	400,000	0	
秋季研修会	240,000	0	
冬季研修	370,000	0	
基幹研修Ⅰ	100,000	0	
課題別研修Ⅰ・Ⅱ	190,000	0	
その他(研修等)	0	0	
支部活動協力費	325,500	0	
委託事業	90,000	0	
雑収入	1,332	150,000	一社化記念式典祝儀
繰越金	573,168	1,474,201	前年度(平成30年度)より
合計	4,620,000	3,507,201	

支出の部

科目	平成31年度予算	平成31年度決算	備考
事業費	3,081,000	841,922	
会議費	1,030,000	804,132	
理事会・総会	600,000	762,192	講師謝金含む
研修委員会	160,000	26,660	
実習検討委員会	80,000	13,040	
PSW研究	0	0	
災害対策	20,000	0	
関係3団体	170,000	2,240	
研修費	1,860,000	32,090	
総会時研修	50,000	0	
初任者研修	590,000	0	
秋季研修	290,000	0	
冬季研修	520,000	0	
基幹研修Ⅰ	190,000	0	
課題別研修Ⅰ・Ⅱ	220,000	0	
その他(研修等)	0	32,090	地域移行研修等
ブロック活動費	150,000	5,700	
ホームページ関連	41,000	0	
事務費	497,000	218,372	
消耗品費	17,000	19,905	
通信費	480,000	198,467	郵送料・携帯電話
印刷・出版	740,000	235,826	総会資料印刷
選挙事務	90,000	0	
備品費	20,000	0	
諸会費	30,000	20,000	
交際費	50,000	19,140	祝儀(関係団体総会・賀詞交換会)、交通費
委託費	100,000	0	
雑費	12,000	122,606	一社化経費、振込手数料等
予備費	0	5,031	事務局経費
次年度繰越	0	2,044,304	一社へ寄付
合計	4,620,000	3,507,201	

※平成31年度予算は、平成31年4月1日～平成32年3月31日の予算額

## 会計監査報告

静岡県精神保健福祉士協会規約により、平成31年度決算（平成31年4月1日～令和1年6月3日）を監査したところ、収入、支出、共に適正であり、諸帳簿と相違ないことを認めます。

令和2年5月30日

静岡県精神保健福祉士協会

会 長 澤野 文彦 殿

監 事 原田正美 

監 事 三谷美貴子 

## 【第1号議案】2019年度事業報告に関する件

### 一般社団法人静岡県精神保健福祉士協会 2019年度事業報告 (自：2019年6月4日 至：2020年3月31日)

定款第3条の目的を達成するため、定款第4条に基づき、次の事業に取り組んだ。

#### I 2019年度活動指針

##### 1. 一般社団法人静岡県精神保健福祉士協会活動指針

- (1) 社会的責務を果たすことのできる人材育成を行い、会員の資質の向上を図る
- (2) 精神障害者の社会的復権をめざし、誰もが安心して暮らすことができる地域をつくる
- (3) 県民のこころの健康の増進を図る

##### 2. 2019年度 重点課題

###### 1) 人材育成

- ①より質が担保された人材育成を進めていくために、スーパービジョン体制の確立を図り、計画的なスーパーバイザーの養成を行う。
- ②ブロック活動の機能を活かし、県全体の研修を補完できる仕組みを構築する。
- ③途切れのないキャリアの形成が図れるよう、ワークライフバランスの課題に直面する中堅層が自己研鑽できる研修機会や環境整備を図る。

###### 2) 政策提言

- ①分野ごとのワーキンググループを設置することによって課題の明確化を図り、より効率的に政策提言を行える体制整備を図る。
- ②県及び政令市等に対し、適切適時に施策提言を行う。
- ③日本精神保健福祉士協会から要請のあるソーシャルアクションに積極的に協力する。

###### 3) 組織体制の強化

- ①「研鑽」「ネットワーク」「意見集約」としたブロック活動に対し、ブロック協力員の役割の明確化を図り、各ブロックが地域性を活かしながら、効果的に機能するよう推進する。
- ②一般社団法人化により組織体制の再編を図り、職能団体として社会的使命を果たすことを目指す。
- ③日本精神保健福祉士協会との連携を一層強化し、両協会への入会を促進する。また、5年間の移行・準備期間を設けて、日本協会と県協会の一本化を図る。

###### 4) 情報発信

- ①つうしん、ホームページ等の情報媒体の活用を効果を検証し、当協会への理解促進を図る。

#### II 事業報告

##### 1. 理事会、委員会

###### 1) 理事会 (全5回)、三役会 (全6回)

理事会	会員の状況確認、発送物の確認と検討、日本協会関係の確認・必要事項の検討 研修関連の確認・検討、後援・派遣の確認と検討、ブロック活動の確認 県内の状況確認・情報共有と協会としての課題・取り組みの検討 他
三役会議	理事会での協議事項検討、協会運営方針の検討 他

## 2) 委員会

委員会	活動内容
研修	初任者研修、基幹研修Ⅰ、秋冬季研修の企画、運営 研修実施体制整備、運営マニュアルの見直し
つうしん	「静岡 PSW つうしん」編集作業（記事や内容の検討、校正作業等） 年4回発行（NO.1～NO.4）
P SW研究	機関誌「静岡 PSW 研究」編集作業（録音、テープ起こし、校正作業等） 年1回発行（No.31）
ホームページ	会議の開催はなし ホームページの管理、情報更新
関係団体連携	ソーシャルワーカー3団体連絡会議、ソーシャルワーカーデー実行委員会、静岡県ソーシャルワーク実践研究会実行委員会等、各種会議への参加
災害対策	日本精神保健福祉士協会東海北陸ブロック災害対策委員連絡会への参加 台風19号被害状況の情報収集等

## 3) 特別委員会

課題に対してワーキングを設置した

ワーキング	活動内容
就労ワーキング	精神障害者雇用推進アドバイザー事業の状況確認・情報共有・課題の検討 雇用に関する課題整理
医療ワーキング	プレワーキングの実施 ワーキングのあり方についての検討

## 4) ブロック活動

ブロック	活動内容
東部	協力員会議、まじめに勉強する会（隔月開催） ブロック研修、東部MSW・PSW合同研修等の企画実施
中部	協力員会議（静岡・志太榛原両地区で随時）、静岡地区勉強会（偶数月）サロン（奇数月）、 志太榛原地区勉強会（毎月） 地区合同研修（全県で参加者募集）参加者 75名 日程：令和2年1月26日（日） 内容：精神保健医療福祉の動向と展望～最前線からのメッセージ～をテーマとした講義 施策の動向、ピアについての理解、ソーシャルアクションへの第一歩を具体化する 講師：吉野智氏（厚生労働省障害福祉課障害福祉専門官/地域移行支援専門官）
西部	協力員会議（浜松地区、中東遠地区） 浜松地区情報交換会・勉強会、中東遠地区勉強会（2回）

## 2. 研修事業

### 1) 基幹研修Ⅰ（初任者研修1日目として開催）参加者53名（基幹Ⅰのみ8名）

日程	2019年7月13日（土）	場所	もくせい会館
内容	講義等（公社）日本精神保健福祉士協会の委託事業として実施する		
講義1	「公益社団法人日本精神保健福祉士協会の役割と課題」 水野拓二（鷹岡病院）		
講義2	「精神保健福祉士の専門性Ⅰ」 澤野文彦（沼津中央病院）		
講義3	「精神保健福祉士の実践論Ⅰ」 菅原小夜子（特定非営利活動法人こころ）		
演習1	「グループワーク」 司会：中村倫也（静岡県立こころの医療センター）		

2) 初任者研修 (経験3年以下の会員を対象) 参加者 45名

日程	2019年7月13日(土)、14日(日)	場所	もくせい会館
内容	講義、演習 (1日目は基幹研修Iと同日開催)		
講義1	「公益社団法人日本精神保健福祉士協会の役割と課題」 水野拓二(鷹岡病院)		
講義2	「精神保健福祉士の専門性I」 澤野文彦(沼津中央病院)		
講義3	「精神保健福祉士の実践論I」 菅原小夜子(特定非営利活動法人こころ)		
演習1	「グループワーク」 進行:中村倫也(静岡県立こころの医療センター)		
演習2	「面接」 進行:加藤寛盛(地域若者サポートステーションはままつ) 石割聖委子(さざ波てんかん神経クリニック)		
講義4	「面接」 望月信吾(溝口病院)		
シンポジウム	「私の実践報告」 コーディネーター:加藤寛盛(地域若者サポートステーションはままつ) パネリスト:藤田あい(浜松市精神保健福祉センター) 平野真子(静岡県立こころの医療センター)		
演習3	「振り返り」		

3) 冬季研修 参加総数:104名 両日:49名 1日目のみ:18名 2日目のみ:21名

日程	2019年11月30日(土)、12月1日(日)	場所	グランシップ
内容	講義、演習		
テーマ	「精神保健福祉士とソーシャルワーカー」～痩せていく主体性と専門性～		
シンポジウム	「覚醒せよ、精神保健福祉士」～かかわりにおける私の主体性～ 進行:小山隆太(鷹岡病院) 助言者:吉川公章氏(福井県立大学) シンポジスト:山田知佳(メンタルクリニック・ダダ) 黒田麻喜(暁) 山口雅弘(鷹岡病院)		
演習1	「グループワーク」 進行:加藤寛盛(地域若者サポートステーションはままつ)		
講義1	「精神保健福祉士とソーシャルワーカー」～かかわる意味を吟味する～ 講師:吉川公章氏(同上)		
演習2	「グループワーク」 進行:加藤寛盛(地域若者サポートステーションはままつ)		
講義2	「成長するソーシャルワーカー」～地域共生社会実現に活躍するために～ 講師:吉川公章氏(同上)		
講義3	「静岡県精神保健福祉士協会の取り組みについて」 講師:菅原小夜子(特定非営利活動法人こころ) 山口雅弘(鷹岡病院)		

4) 静岡県精神障害者の障害特性と支援技法を学ぶ研修 参加者 97名

日程	2019年12月17日(土)25日(水)	場所	グランシップ
内容	講義、演習		
講義1	精神障害者の特性の総論的理解 澤野文彦(沼津中央病院)		
講義2	障害特性の理解と具体的な対応① 水野拓二(鷹岡病院)		
演習1	グループワーク 澤野文彦(沼津中央病院) ・障害特性の理解と想定 ・想定場面での対応方法及び援助技術①		

講義3	障害特性の理解と具体的な対応②	中村倫也（静岡県立こころの医療センター）
講義4	当事者の想いを理解	当事者2名（特定非営利活動法人こころ） 菅原小夜子（特定非営利活動法人こころ）
演習2	グループワーク ・障害特性の理解と想定 ・想定場面での対応方法及び援助技術②	中村倫也（静岡県立こころの医療センター）
講義5	社会資源と連携、家族支援	前林勝弥（静岡市保健所）
演習3	グループワーク ・効果的な支援のための関係機関との連携	前林勝弥（静岡市保健所）

5) 地域移行定着推進研修 参加者 125名

テーマ	「安心して生活し続けられる地域づくり」 ～「ピアサポート」きほんの“き”～		
日程	2020年1月14日（火）	場所	シズウエル
主催	静岡県自立支援協議会地域移行定着部会（静岡県、静岡県精神保健福祉士協会、公益社団法人静岡県作業療法士会、一般社団法人日本精神科看護協会静岡県支部、静岡県精神科病院協会、静岡県精神神経科診療所協会、NPO法人静岡県障害者ケアマネジメント従事者ネットワーク）、静岡市、浜松市		
内容	講義、演習		
総論	静岡県のピアに係る方向性及び地域移行研修の取組 村中能光氏（静岡県障害福祉課精神保健福祉班）		
講義	リカバリーについて	相川章子氏（聖学院大学）	
リカバリーストーリー	ピア2名（駿東田方圏域／志太榛原圏域）		
講義	ピアサポートについて	相川章子氏（同上）	
演習	グループワーク		
シンポジウム	「チームで取り組む地域移行 ～ピアとの協働、その可能性を探る～」 コーディネーター：中村倫也（静岡県立こころの医療センター） パネリスト：当事者、支援チーム（医療機関・相談支援事業所・ピアスタッフ） コメンテーター：相川章子氏（同上）		
報告	圏域の取り組み（駿東田方圏域／志太榛原圏域）		
演習	グループディスカッション		
まとめ	まとめ 相川章子氏（同上）		

6) 静岡県ソーシャルワーク関係団体連絡協議会 会推薦委員等現任者研修会

日程	2019年11月2日（土）	場所	シズウエル
内容	講義及びグループワーク		
講演	各団体から 静岡県社会福祉士会 副会長 小林拓氏 静岡県医療ソーシャルワーカー協会 会長 中村敬氏 静岡県精神保健福祉士協会 会長 澤野文彦		
演習	グループワーク「専門職を理解してもらうために工夫していること」		

7) 静岡県ソーシャルワーク関係団体実践研究学会

日程	2020年2月8日（土）	場所	シズウエル
内容	シンポジウム、実践研究発表		
講義	第1部 研修会 シンポジウム テーマ「のりしろのある連携を考える ～どこへいった!?地域包括ケアシステム～」 シンポジスト：一般社団法人静岡県社会福祉士会 副会長 安藤千晶氏		

	静岡県医療ソーシャルワーカー協会 会長 中村敬氏 一般社団法人静岡県精神保健福祉士協会 会長 澤野文彦
実践研究発表	第2部 実践研究学会

### 3. 出版・広報活動

- 1) 静岡PSW研究 No.31 を発送
- 2) 静岡PSWつうしん 年4回発行
- 3) リーフレットの改訂 法人化に伴いリーフレット改訂に向けての検討を行った
- 4) ホームページ管理 ホームページの更新を随時行った

### 4. 関係機関、関係団体との連携及び社会活動の実践

- 1) 精神保健福祉士を養成する大学等との情報交換及び連携

大学	内容	日時	参加者
聖隷クリストファー大学	実習指導者懇談会	2019年7月25日	平野慎一朗
静岡福祉大学	実習報告会及び実習指導者シンポジウム	2019年11月29日	平野慎一朗

※3月開催予定だった県内養成校との連絡会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした

- 2) 各種機関・団体との情報交換及び連携

- (1) ソーシャルワーク関係団体との連携

内容	日時または回数	参加者
一般社団法人静岡県社会福祉士会定時社員総会	2019年5月18日	澤野文彦
静岡県医療ソーシャルワーカー協会総会	2019年5月25日	澤野文彦
ソーシャルワーカーデイ拡大会議	2019年7月15日	澤野文彦、菅原小夜子、前林勝弥 川嶋章記、田中幸子、安達万里子 山田知佳
静岡県ソーシャルワーク関係団体連絡協議会	3回	前林勝弥、田中幸子

- (2) 県弁護士会・司法書士会・法テラス静岡等との協力・連携

内容	日時	参加者
公益社団法人成年後見センター・リーガルサポート 静岡支部通常総会	2019年5月11日	澤野文彦
静岡県司法書士会定時総会	2019年5月25日	澤野文彦
日本司法支援センター静岡地方事務所地方協議会	2019年11月21日	中村倫也

- (3) 行政政策機関等との連携、意見交換、会議への参画

内容	日時または回数	参加者
静岡県自立支援協議会地域移行・定着部会	2回	澤野文彦
静岡県自立支援協議会地域移行・定着部会ワーキング（研修／ピア／事務局会議）	8回	澤野文彦、菅原小夜子、山口雅弘
地域包括ケア推進ネットワーク会議	2019年5月7日	山口雅弘
障害を理由とする差別解消県民会議	2019年9月6日	中村倫也
静岡県健康福祉部長と静岡県社会福祉協議会連絡協議会との懇談会	2019年10月30日	澤野文彦
民生委員協力員制度締結式	2019年11月22日	前林勝弥、野村歩美

静岡県居住支援協議会	2020年1月24日	望月信吾
精神障害のある人の雇用に関する県との意見交換会	2020年1月23日	菅原小夜子、川嶋章記 渡邊里佳、海野洋一郎、山口雅弘

### 3) 講師の派遣等

研修名	日時	派遣者
やさしい精神保健福祉ボランティア養成講座	2019年6月22日	青木絵里
日本精神科看護協会静岡支部研修	2019年10月19日	中村倫也、安達万里子
成年後見理解促進研修会（出前講座）	2019年12月19日 2020年1月29日	山口雅弘

### 4) 事業の受託・事業への協力

#### (1) 精神障害者雇用推進アドバイザー事業

##### ①アドバイザーの派遣

ブロック	氏名	所属
東部	青木 大輔	田方・ゆめワーク
	勝又美智子	ワークショップまごころ
	小野 剛	沼津中央病院
	長谷川真美	サポートセンターほっと
	水野 拓二	鷹岡病院
	山口 雅弘	鷹岡病院
	大谷 法和	伊豆函南病院
中部	渡邊 里佳	こむぎ
	高塚むつ代	こむぎ
	岩本有喜子	さがら作業所
	田中 幸子	グリーンワークス・リラ
	小柳 保徳	ワークステップ With
西部	金田 祥史	だんだん
	海野洋一郎	社会福祉法人みどりの樹
	鈴木 華紀	Mネット東遠
	沢居なおみ	さわやか
	平野慎一郎	小笠病院

##### ②精神障害のある人の雇用に関する県との意見交換会（再掲）

日程：2020年1月23日

#### (2) こころと法律の相談会

主催：静岡市 協力：法テラス静岡 日程：2019年9月4日、11日、18日、24日

#### (3) 職業能力開発校への派遣事業

##### ①ヒアリングの実施（県内4校を訪問、現状と希望についてヒアリング）

派遣先	日時	派遣者
あしたか職業訓練校	2019年12月5日	水野拓二、山口雅弘
沼津テクノカレッジ	2019年12月23日	澤野文彦、鈴木伸二
清水テクノカレッジ	2019年12月4日	中村倫也
浜松テクノカレッジ	2019年12月27日	川嶋章記、増田喜信

##### ②事業実施のための県との打合せ（3回） 参加者：前林勝弥、山口雅弘、野村歩美

### ③相談派遣の実施

派遣先	日時	派遣者
沼津テクノカレッジ	2020年3月3日	山口雅弘
沼津テクノカレッジ	2020年3月5日	鈴木伸二

## 5. 体制整備

### 1) 一般社団法人化と組織体制の見直し・強化

一般社団法人化後、組織体制の再編について検討した。

分野ごとのワーキンググループを設置することによって課題の明確化を図り、より効率的に政策提言を行える体制整備を図った。

### 2) 事務局体制の整備

静岡県総合社会福祉会館を主たる事務局として登記し、非常勤の事務局員を配置した。事務局長が所属する機関を従たる事務局とし、対外的な連絡窓口として継続した。

会計担当者、会員管理等、分担して行っている事務作業を見直し、事務局体制を一本化した。会計ソフト購入、会計の仕組み作り、会員管理の効率化等について検討した。

### 3) 意見集約の体制整備

職能団体として会員の声を集約できる体制づくりについて検討した。メール、メーリングリスト、ソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）等、活用できる媒体について検討した。

### 4) 日本精神保健福祉士協会との連携と一本化に向けた準備

様々な機会で日本精神保健福祉士協会との連携促進を図った。5年間の移行期間を設けて日本協会と県協会の一本化を図った。

## 6. 災害対策

日本精神保健福祉士協会東海北陸ブロック災害対策委員連絡会へ担当者を派遣し、日本精神保健福祉士協会との連携を図った。

台風19号被害状況の情報収集を行った。

## 7. インシデント・アクシデント報告

内容	原因・問題点	対策
入会后郵便物が届かなかった	入会処理がされておらず、発送者名簿に名前が載らなかった	①入会、変更、退会等の各種届け出書類、年会費等の金銭に関しては手渡しを廃止、処理漏れが起こりにくい体制へ変更する ②会員管理・会計等理事が分担で担っていた事務局機能を事務局員に集約する
個人情報入り USB を紛失した	①個人情報を USB メモリに保存しており、紛失の危険性が高い状態であった ②本協会における個人情報の扱いに関する取り決めを行うことなく個人情報を扱っていた	①USBメモリ等外部媒体への個人情報保存を禁止し、紛失の危険性を軽減する ②個人情報を保存する際は、ファイルへのパスワードロックを行い、個人情報管理の徹底を図る

## 8. 委員等の派遣

委員名	氏名	所属
静岡県医療観察制度運営連絡協議会	澤野 文彦	沼津中央病院
静岡県精神医療審査会	石神 裕子	菊川市立総合病院
	田中佐代子	静岡てんかん・神経医療センター
	久野満津代	沼津中央病院
静岡県精神保健福祉審議会	渡邊 里佳	特定非営利活動法人こころ
静岡県自立支援協議会地域移行定着部会	澤野 文彦	沼津中央病院
静岡県自殺対策連絡協議会	澤野 文彦	沼津中央病院
静岡県人権会議	澤野 文彦	沼津中央病院
静岡県精神保健福祉協会	澤野 文彦	沼津中央病院
静岡県健康福祉推進ネットワーク会議	澤野 文彦	沼津中央病院
静岡県日常生活自立支援事業契約締結審査会	中村 倫也	静岡県立こころの医療センター
静岡県障害者介護給付費等不服審査会	牛島 聖美	公益財団法人復康会
地域福祉権利擁護事業運営適正化委員会	三谷美貴子	届け出なし
静岡県福祉サービス運営適正化委員会	三谷美貴子	届け出なし
静岡県アルコール健康障害対策連絡協議会	中村 倫也	静岡県立こころの医療センター
静岡県措置入院適正運営協議会	澤野 文彦	沼津中央病院
静岡県救急医療システム連絡調整委員会	澤野 文彦	沼津中央病院
静岡県依存症対策連絡協議会	澤野 文彦	沼津中央病院
施設利用精神障害者自立促進事業審査委員	澤野 文彦	沼津中央病院
しずおか精神障害者スポーツ推進協議会	石川 裕己	静岡市支援センターなごやか
成年後見制度利用促進検討委員会	菅原小夜子	特定非営利活動法人こころ
成年後見制度理解促進ワーキング	山口 雅弘	鷹岡病院
静岡市精神保健福祉審議会	望月 信吾	溝口病院
	伊藤 陽子	川口会病院
静岡市精神医療審査会	大石 信弘	静岡まちとも
	岩川 純子	特定非営利活動法人こころ
	望月 信吾	溝口病院
	石割聖委子	さざ波てんかん神経クリニック
	中村 倫也	静岡県立こころの医療センター
	沼尻 武能	日本平病院
	廣澤千衣子	清水駿府病院
	石川 裕己	静岡市支援センターなごやか
	大鹿 愛子	特別養護老人ホームはたるとの丘
	岩ヶ谷香織	清水駿府病院
	大石 信弘	静岡まちとも
静岡市障害支援区分認定審査会	田中佐代子	焼津病院
	田中 幸子	溝口病院
静岡市日常生活自立支援事業契約締結審査会	朝日 友紀	静岡市支援センターなごやか
静岡市地域包括支援センター運営協議会	興津奈緒美	静岡市暮らし・しごと相談支援センター
静岡市認知症初期集中支援チーム検討委員会	橋本 睦美	静岡てんかん・神経医療センター
静岡市障害者自立支援協議会地域移行支援部会	中村 倫也	静岡県立こころの医療センター
静岡市障害者自立支援協議会権利擁護虐待防止部会	興津奈緒美	静岡市暮らし・しごと相談支援センター
浜松市障害支援区分認定審査会	増田 喜信	三方原病院
	岸 直樹	だんだん
	川嶋 章記	だんだん
浜松市精神医療審査会	小山友理子	三方原病院
	山本恵理子	はまかぜ
浜松市社会福祉審議会	松本多加弘	ボコ・ア・ボコ
	松本多加弘	ボコ・ア・ボコ
浜松市介護保険認定審査会	大谷 晶子	せせらぎ
	額綱 久仁	湖西市障がい者相談センターみなづき
浜松市日常生活自立支援事業契約締結審査会	加藤 寛盛	地域若者サポートステーションはままつ
浜松市精神保健福祉審議会	川嶋 章記	だんだん
御前崎市障害支援区分認定審査会	藤田 尚	菊川市立総合病院
掛川市障害支援区分認定審査会	平野慎一朗	小笠病院
	石神 裕子	菊川市立総合病院
	倉橋 真弓	Mネット東遠
	黒田 麻喜	暁
藤枝市障害支援区分認定審査会	渡邊 祐理	特定非営利活動法人こころ
牧之原市障害支援区分認定審査会	菅原小夜子	特定非営利活動法人こころ
	安達万里子	特定非営利活動法人こころ
島田市障害支援区分認定審査会	渡邊 里佳	特定非営利活動法人こころ
	八木 光春	Mネット東遠
農水省静岡地域センターメンタルヘルス相談員	大石 信弘	静岡まちとも
伊東市メンタルヘルス相談員	三谷美貴子	届け出なし
裾野市障害支援区分判定審査会	杉山 智子	就労支援事業所 かのん
富士宮市権利擁護ネットワーク会議	山口 雅弘	鷹岡病院
富士宮市成年後見制度体制整備検討会	山口 雅弘	鷹岡病院
富士市障害支援区分認定審査会	山口 雅弘	鷹岡病院
	渡辺 大	大富士病院
伊豆市・伊豆の国市障害支援区分等判定審査会	青木 大輔	田方・ゆめワーク
川根本町障害支援区分認定審査会	山城 厚生	特定非営利活動法人こころ
ふれあい福祉相談	大石 信弘	静岡まちとも
	勝又恵美子	届け出なし
3市1町成年後見運営委員会	菅原小夜子	特定非営利活動法人こころ
三島市成年後見制度利用促進連携協議会	澤野 文彦	沼津中央病院
絆プロジェクト推進委員会	川嶋 章記	だんだん

## 9. 会員の動向

### 1) 入会 27名

	氏名	所属機関
1	服部 由妃	
2	人見 嘉之	中東遠総合医療センター
3	小野 洋介	菊川市教育委員会学校教育科
4	星崎 修	藤枝第一心愛
5	伊藤 一真	小笠病院
6	西ヶ谷 晴子	静岡市青少年育成課子ども若者相談センター
7	近藤 佳美	はまかぜ
8	高橋 真琴	焼津病院 地域連携室
9	松永 由紀子	駿府こころのクリニック
10	鶉 領太郎	静岡福祉大学社会福祉学部福祉心理学科
11	宮崎 ありさ	川口会病院
12	藤田 啓二	清水駿府病院
13	原野 友美	静岡市児童相談所相談係
14	石井 香奈	好生会 三方原病院 医療相談室
15	鍋田 麻里	清水駿府病院
16	林 真悠	清水駿府病院
17	伊藤 美香子	好生会 さわや家
18	山下 文音	静岡市保健所 精神保健福祉班
19	竹山 光子	地域活動支援センターはまかぜ
20	澤崎 彰宏	障害者支援施設 美浜
21	佐藤 智澄	サポステ はままつ
22	栗原 猶子	地域包括支援センター新津
23	松永 佳子	新清水クリニック
24	小野 和幸	中伊豆居宅介護支援事業所
25	村瀬 令名	清水駿府病院
26	青野 結衣	独立行政法人国立病院機構 天竜病院
27	石澤 一美	聖明病院 医療相談室

2) 退会 27名

	氏名	所属機関
1	長坂 聖子	浜松市教育委員会 指導課
2	片井 真衣	清水駿府病院
3	石光 和雅	
4	比護 さつき	沼津中央病院
5	前田 保	静岡市駿河区八幡山地域包括支援センター
6	清 敬子	大富士病院
7	松下 愛	社会福祉法人ひつじ
8	早坂 芳章	Lanikai
9	高梨 知子	
10	河村 幸	聖明病院
11	藤田 安	社会福祉法人ひつじ 学び舎あいまいもこ
12	伊藤 栞	サポートセンターなかせ 三島分室
13	竹下 可紗	掛川市役所 福祉課
14	増子 達也	てらだ医院
15	八木 亮輔	静岡市立清水病院診療部認知症センター
16	鈴木 良輔	小池神経科
17	市村 美祐	沼津中央病院 医療相談課
18	神保 由紀子	生活支援センターやまぼと
19	山下 哲治	居宅介護支援事業所 綿ぼうし
20	小野田 綾子	富士市役所 障害福祉課
21	小野田 卓章	静岡保護観察所
22	鈴木 菜都美	ふれあい南伊豆ホスピタル
23	楯村 梨乃	佐鳴湖病院
24	水島 悠	静岡市支援センターみらい
25	増田 智子	
26	久野 有祐	地域活動支援センターきずな
27	佐野 大介	社会福祉法人昭隆会 地域活動支援センターゆうゆう

2020年4月1日現在 会員数488名

【第2号議案】2019年度収支決算報告に関する件

2019年度 決算

自 2019年6月4日 至 2020年3月31日

総収入5,106,051円

総支出5,106,051円

収入の部

科目	令和1年度予算	令和1年度決算	備考
<b>会費</b>	2,330,000	932,000	
当年度会費	2,235,000	815,000	5,000円×163名
過年度会費	55,000	65,000	5,000円×13名
入会金	40,000	6,000	1,000円×6名
会費前納	0	46,000	
<b>事業費</b>	1,300,000	1,327,500	
総会時研修	0	0	
初任者研修	400,000	272,500	
秋季研修会	240,000	620,000	情報交換会費250,000円含む
冬季研修	370,000	0	
基幹研修Ⅰ	100,000	348,000	情報交換会費240,000円含む
課題別研修Ⅰ・Ⅱ	190,000	0	
その他(研修等)	0	87,000	中部ブロック研修費
支部活動協力費	325,500	406,500	
委託事業	90,000	387,000	こころと法律の相談会、精神保健福祉士派遣事業
雑収入	1,332	8,747	会議室キャンセル料、利息等
繰越金	573,168	2,044,304	静岡県精神保健福祉士協会(一般社団法人化前)より
<b>合計</b>	<b>4,620,000</b>	<b>5,106,051</b>	

支出の部

科目	令和1年度予算	令和1年度決算	備考
<b>事業費</b>	3,081,000	1,966,801	
会議費	1,030,000	488,403	
理事会・総会	600,000	396,425	
研修委員会	160,000	18,947	
実習検討委員会	80,000	3,521	
PSW研究	0	0	
災害対策	20,000	9,020	
関係3団体	170,000	60,490	
研修費	1,860,000	1,432,932	
総会時研修	50,000	0	
初任者研修	590,000	102,656	
秋季研修	290,000	592,132	秋・冬季研修合同開催
冬季研修	520,000	0	
基幹研修Ⅰ	190,000	517,262	
課題別研修Ⅰ・Ⅱ	220,000	0	
その他(研修等)	0	38,470	地域移行研修等
ブロック活動費	150,000	182,412	
ホームページ関連	41,000	45,466	
<b>事務費</b>	497,000	492,960	
消耗品費	17,000	45,439	コピー用紙、文房具等
通信費	480,000	447,521	郵送料・切手代・携帯電話料金等
印刷・出版	740,000	299,643	つうしん印刷、封筒代
選挙事務	90,000	0	
備品費	20,000	76,525	事務局備品等
諸会費	30,000	10,000	静岡県社会福祉協議会へ
交際費	50,000	6,680	他団体総会交通費
委託費	100,000	647,131	こころと法律の相談会、障害特性研修、精神保健福祉士派遣事業
雑費	12,000	218,843	一社化経費、振込手数料等
予備費	0	567,356	事務局経費(人件費、シズウエル等)
次年度繰越	0	820,112	令和2年度へ
<b>合計</b>	<b>4,620,000</b>	<b>5,106,051</b>	

## 会計監査報告

一般社団法人静岡県精神保健福祉士協会規約により、令和1年度決算（令和1年6月4日～令和2年3月31日）を監査したところ、収入、支出、共に適正であり、諸帳簿と相違ないことを認めます。

令和2年5月30日

一般社団法人 静岡県精神保健福祉士協会

会 長 澤野 文彦 殿

監 事

原 田 正 美 

監 事

三 谷 美 貴 子 

## 貸借対照表

一般社団法人静岡県精神保健福祉士協会      令和2年3月31日現在      (単位：円)

資産の部		負債及び純資産の部	
科目	金額	科目	金額
<b>流動資産</b>	<b>1,610,112</b>	<b>流動負債</b>	<b>103,780</b>
現金預金	820,112	支払手形	0
受取手形	0	買掛金	0
売掛金	600,000	未払費用	57,780
未納年会費	190,000	年会費前納	46,000
有価証券	0	未払法人税等	-
棚卸資産	0	<b>固定負債</b>	-
その他	0	退職給付引当金	0
貸倒引当金	0	その他	0
<b>固定資産</b>	<b>0</b>	<b>純資産</b>	
有形固定資産	0	資本金	-
建物	0	資本剰余金	-
機械装置	0	利益剰余金	1,506,332
土地	0	利益準備金	686,220
無形固定資産	0	繰越利益準備金	820,112
投資など	0		
投資有価証券	0		
その他	0		
<b>資産合計</b>	<b>1,610,112</b>	<b>負債及び純資産合計</b>	<b>1,610,112</b>

## 【第3号議案】2020年度事業計画に関する件

### 一般社団法人静岡県精神保健福祉士協会 2020年度事業計画（案） （自：2020年4月1日 至：2021年3月31日）

定款第3条の目的を達成するため、定款第4条に基づき、次の事業に取り組む。

#### I 2020年度活動指針

##### 1. 一般社団法人静岡県精神保健福祉士協会活動指針

- (1) 社会的責務を果たすことのできる人材育成を行い、会員の資質の向上を図る
- (2) 精神障害者の社会的復権をめざし、誰もが安心して暮らすことができる地域をつくる
- (3) 県民のこころの健康の増進を図る

##### 2. 2020年度 重点課題

新型コロナウイルス拡散防止の観点より、上期の事業は計画せず、下期において実施できる内容に集約する。尚、会議は基本WEB会議を活用する。

###### 1) 人材育成

- ①人材育成の中核機能である研修体制について、より効果的、効率的に実施できる体制を再構築する。

###### 2) 政策提言

- ①分野ごとのワーキンググループを設置し、県及び政令市等に対し適時適切に施策提言を行う。
- ②日本精神保健福祉士協会から要請のあるソーシャルアクションに積極的に協力する。

###### 3) 組織体制の強化

- ①「研鑽」「ネットワーク」「意見集約」を目的としたブロック活動に対し、ブロック協力員の役割の明確化を図り、各ブロックが地域性を活かしながら、効果的に機能するよう推進する。
- ②法人運営の安定化を図るため、事務局機能の強化及び収支バランスの適正化を目指す。
- ③日本精神保健福祉士協会との連携を一層強化し、2024年日本協会と県協会の入会を一本化とする。

###### 4) 情報発信

- ①つうしん、ホームページ、SNS等の情報媒体の活用の効果を検証し、当協会への理解促進及び会員への情報提供等の充実を目指す。

#### II 事業計画

##### 1. 総会

日程	2020年6月28日（日）	場所	グランシップ 910
内容	2019年度静岡県精神保健福祉士協会事業報告及び収支決算に関する件 2019年度事業報告及び収支決算報告に関する件、2020年度事業計画に関する件 2020年度収支予算に関する件、公益社団法人日本精神保健福祉士協会支部活動報告		

## 2. 理事会、委員会

### 1) 理事会

理事会全6回、三役会全9回程度を予定。WEB会議等を活用する。

### 2) 部・委員会・ワーキング（予定）

部・委員会		活動内容（予定）	
事務局 (理事会)	総務	会員管理、会計、委託事業の実施	
	広報	つうしん	「静岡PSW つうしん」編集作業（記事や内容の検討、校正作業等） 年4回発行予定。紙媒体以外での発行についての検討
		ホームページ等	ホームページの管理、情報更新、会員への情報発信体制の検討 リーフレットの改訂
		PSW 研究	機関誌「静岡PSW 研究」編集作業（録音、テープ起こし、校正作業等）、年1回発行予定
災害対策 (理事会)	災害支援に関する発信・啓発の機会の創出、災害時の安否確認等の実施、情報収集と関係機関等との連携、日本精神保健福祉士協会との連携		
調査研究 (理事会)	社会的な課題に対する調査研究を行う。関係団体の委託研修事業などを想定する		
人材育成部	研修プロジェクト	委員会形式をとらず「研修プロジェクト」とする 構成メンバー：2019年度研修委員、理事 内容：研修企画運営・研修実施体制の検討・整備	
	SV委員会	スーパービジョン体制の整備・検討	
地域体制整備部	地域移行ワーキング	ワーキングを立ち上げ、課題整理	
	相談ワーキング	ワーキングを立ち上げ、課題整理	
	医療ワーキング	山積する課題を整理し、情報発信や研修等を企画	
	就労ワーキング	課題整理及び政策提言、雇用等に係る行政等との連絡会実施	
組織強化部	ブロック	ブロック活動の企画・実施	
	関係団体連携	ソーシャルワーカー3団体連絡会議等、各種会議への参加 3団体合同での研修等の実施、ソーシャルアクション体制の整備・検討	
権利擁護部	成年後見ワーキング	日本精神保健福祉士協会のクローバー、成年後見制度に関連する 関係団体との連携を図り、精神保健福祉士が成年後見制度へ関与 できる体制及び環境の検討	

※必要に応じ課題に対してワーキング、プロジェクト等を適宜設置する

### 3) ブロック活動（日程未定）

ブロック	活動内容
東部	協力員会議（3回程度）、まじめに勉強する会（隔月開催） ブロック研修、東部MSW・PSW合同研修等の企画実施
中部	静岡・志太榛原両地区において協力員会議の開催（日程未定） 静岡地区勉強会、志太榛原地区勉強会、地区合同研修等の企画実施
西部	浜松、中東遠地区において協力員会議の開催（日程未定）、ブロック研修、浜松地区研修会、中東遠地区研修会の企画実施

### 3. 研修事業

#### 1) 初任者研修会・基幹研修 I

日程	2020年10月3日(土)4日(日)	場所	もくせい会館
内容	講義及びグループワーク 基幹研修 I は(公社)日本精神保健福祉士協会の委託事業として実施する		

#### 2) 課題別研修①

日程	2020年秋頃を予定	場所	静岡市内を予定
内容	未定		

#### 3) 課題別研修②

日程	2020年冬頃を予定	場所	静岡市内を予定
内容	未定		

#### 4) その他研修 必要に応じて開催

各ブロックや地区での研修を企画、実施する

### 4. 関係機関、関係団体との連携及び社会活動の実践

- 1) 精神保健福祉士を養成する大学等との情報交換及び連携
- 2) 各種機関・団体との情報交換及び連携
  - (1) ソーシャルワーク関係団体との連携
  - (2) 県弁護士会・司法書士会・法テラス静岡等との協力・連携
  - (3) 行政機関との連携、意見交換  
静岡県自立支援協議会地域移行部会研修・ピアワーキングへの参画等  
他意見交換や政策提言、要望等を行う
- 3) 講師の派遣等 研修会等の講師を派遣する
- 4) 事業の受託及び事業への協力  
静岡県障害者雇用企業支援事業への協力  
職業能力開発校派遣事業への協力  
公的機関からの研修事業の受託

### 5. 体制整備

- 1) 組織体制の強化  
組織体制の整備を継続的に行い人材育成、課題の明確化を図り、より効率的に政策提言を行える体制整備を図る。
- 2) 人材育成体制の見直し・強化  
教育研修体制の見直しを図るために、昨年度までの研修委員会と理事で構成する研修プロジェクトを立ち上げる。プロジェクトメンバーで研修会を企画運営しながら、2021年度以後の体制を検討する。
- 3) ブロック活動の強化  
「研鑽」「ネットワーク」「意見集約」としたブロック活動に対し、ブロック協力員の役割の明確化を図り、各ブロックが地域性を活かしながら、効果的に機能するよう推進する。  
県全体の研修実施が難しいことが予想されるため、ブロック単位での小規模な研修を企

画・実施する。

#### 4) 意見集約の体制整備

職能団体として会員の声を集約できる体制づくりについて引き続き検討する。メール、メーリングリスト、ソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）等、活用できる媒体を整え、協会の情報発信と意見集約の体制を整える。

#### 5) 日本精神保健福祉士協会との連携

日本精神保健福祉士協会から要請のあるソーシャルアクションに積極的に協力し、職能団体として社会的使命を果たせる体制を作る。

当協会の正会員は日本精神保健福祉士協会に入会している事を条件とする、いわゆる「1本化」を2019年度の総会で可決しており、移行期間である本年度も積極的に日本精神保健福祉士協会未入会者に働きかけを行う。現会員には2024年度までの移行期間内に日本精神保健福祉士協会へ入会し、正会員へ移行してもらえるよう周知する。

#### 6) 事務局体制の整備

事務局のハード面は整いつつあるが、会計、会員管理、文書管理等を強化するために、非常勤の事務局員を増員する。

事務作業を見直し、事務局体制を整備する。会計ソフト購入、会計の仕組み作り、会員管理の効率化・健全化を図る。

### 6. 災害対策

日本精神保健福祉士協会の災害対策研修、会議等へ担当者を派遣し、日本精神保健福祉士協会との連携を図る。

災害時の安否確認の仕組みとしてSNSの活用を含め検討する。

日本精神保健福祉士協会作成のガイドライン等を参考に、災害派遣等を含めた支援、被災時の受援を想定した仕組みも含めた体制整備を検討し、研修等を実施し周知に努める。

### 7. 役員選出選挙

2021年度～2022年度の役員選挙を今年度内に行う。選挙管理委員会を沼津中央病院に置く。選挙規定は理事会で検討し本年の10月までに完成させ、年度内に選挙を実施する。

### 8. 会費納入方法の変更

2022年度より会費の納入方法を原則銀行引き落としとする。

2020年度より銀行引き落としの書類を会員に配布、2021年度から引き落としを開始、2024年度までに手続きを終了し、2025年度から全会員、会費は銀行引き落としとする。

移行期間である今年度より、会費納入は全て銀行振り込みとする。よって、手渡しでの会費納入は行わないこととする。

## 9. 委員等の派遣

委員名	氏名	所属
静岡県医療観察制度運営連絡協議会	澤野 文彦	沼津中央病院
	川島 菜己	鷹岡病院
静岡県精神医療審査会	田中佐代子	静岡でんかん・神経医療センター
	久野満津代	沼津中央病院
静岡県精神保健福祉審議会	渡邊 里佳	特定非営利活動法人こころ
静岡県自立支援協議会地域移行定着部会	澤野 文彦	沼津中央病院
静岡県自殺対策連絡協議会	澤野 文彦	沼津中央病院
静岡県人権会議	澤野 文彦	沼津中央病院
静岡県精神保健福祉協会	澤野 文彦	沼津中央病院
静岡県健康福祉推進ネットワーク会議	澤野 文彦	沼津中央病院
静岡県日常生活自立支援事業契約締結審査会	中村 倫也	静岡県立こころの医療センター
静岡県障害者介護給付費等不服審査会	牛島 聖美	公益財団法人復康会
地域福祉権利擁護事業運営適正化委員会	三谷美貴子	届け出なし
静岡県福祉サービス運営適正化委員会	三谷美貴子	届け出なし
静岡県アルコール健康障害対策連絡協議会	中村 倫也	静岡県立こころの医療センター
静岡県措置入院適正運営協議会	澤野 文彦	沼津中央病院
静岡県救急医療システム連絡調整委員会	澤野 文彦	沼津中央病院
静岡県依存症対策連絡協議会	澤野 文彦	沼津中央病院
施設利用精神障害者自立促進事業審査委員	澤野 文彦	沼津中央病院
成年後見制度利用促進検討委員会	菅原小夜子	特定非営利活動法人こころ
成年後見制度理解促進ワーキング	山口 雅弘	鷹岡病院
静岡市精神保健福祉審議会	望月 信吾	溝口病院
	伊藤 陽子	川口会病院
静岡市精神医療審査会	大石 信弘	静岡まちとも
	岩川 純子	特定非営利活動法人こころ
	望月 信吾	溝口病院
	石割聖妻子	さざ波でんかん神経クリニック
	中村 倫也	静岡県立こころの医療センター
	沼尻 武能	日本平病院
	廣澤千衣子	清水駿府病院
	石川 裕己	静岡市支援センターなごやか
	大鹿 愛子	特別養護老人ホームほたるの丘
	岩ヶ谷香織	清水駿府病院
静岡市介護保険認定審査会	大石 信弘	静岡まちとも
	田中佐代子	焼津病院
	田中 幸子	溝口病院
静岡市日常生活自立支援事業契約締結審査会	朝日 友紀	静岡市支援センターなごやか
静岡市地域包括支援センター運営協議会	興津奈緒美	静岡市暮らししごと相談支援センター
静岡市認知症初期集中支援チーム検討委員会	橋本 睦美	静岡でんかん・神経医療センター
静岡市障害者自立支援協議会地域移行支援部会	中村 倫也	静岡県立こころの医療センター
静岡市障害者自立支援協議会権利擁護虐待防止部会	興津奈緒美	静岡市暮らししごと相談支援センター
浜松市障害支援区分認定審査会	増田 喜信	三方原病院
	岸 直樹	だんだん
	川嶋 章記	だんだん
浜松市精神医療審査会	小山友理子	三方原病院
	山本恵理子	はまかぜ
浜松市社会福祉審議会	松本多加弘	ボコ・ア・ボコ
	松本多加弘	ボコ・ア・ボコ
浜松市介護保険認定審査会	大谷 晶子	せせらぎ
	細瀬 久仁	湖西市障がい者相談センターみなづき
浜松市日常生活自立支援事業契約締結審査会	加藤 寛盛	地域若者サポートステーションはままつ
浜松市精神保健福祉審議会	川嶋 章記	だんだん
御前崎市障害支援区分認定審査会	藤田 尚	菊川市立総合病院
	平野慎一朗	小笠病院
掛川市障害支援区分認定審査会	石神 泰登	菊川市立総合病院
	倉橋 真弓	Mネット東遠
藤枝市障害支援区分認定審査会	黒田 麻喜	曉
	渡邊 祐理	特定非営利活動法人こころ
牧之原市障害支援区分認定審査会	菅原小夜子	特定非営利活動法人こころ
	安達万里子	特定非営利活動法人こころ
島田市障害支援区分認定審査会	渡邊 里佳	特定非営利活動法人こころ
	八木 光春	Mネット東遠
農水省静岡地域センターメンタルヘルス相談員	大石 信弘	静岡まちとも
伊東市メンタルヘルス相談員	三谷美貴子	届け出なし
裾野市障害支援区分判定審査会	杉山 智子	就労支援事業所 かのかん
富士宮市権利擁護ネットワーク会議	山口 雅弘	鷹岡病院
富士宮市成年後見制度体制整備検討会	山口 雅弘	鷹岡病院
富士市障害支援区分認定審査会	山口 雅弘	鷹岡病院
	渡辺 大	大富士病院
伊豆市・伊豆の国市障害支援区分判定審査会	青木 大輔	田方・ゆめワーク
川根本町障害支援区分認定審査会	山城 厚生	特定非営利活動法人こころ
	大石 信弘	静岡まちとも
ふれあい福祉相談	勝又恵美子	届け出なし
3市1町成年後見運営委員会	菅原小夜子	特定非営利活動法人こころ
三島市成年後見制度利用促進連携協議会	澤野 文彦	沼津中央病院
絆プロジェクト推進委員会	川嶋 章記	だんだん

【第4号議案】2020年度収支予算に関する件

令和2年度 予算

自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日

総収入 6,610,000円

総支出 6,610,000円

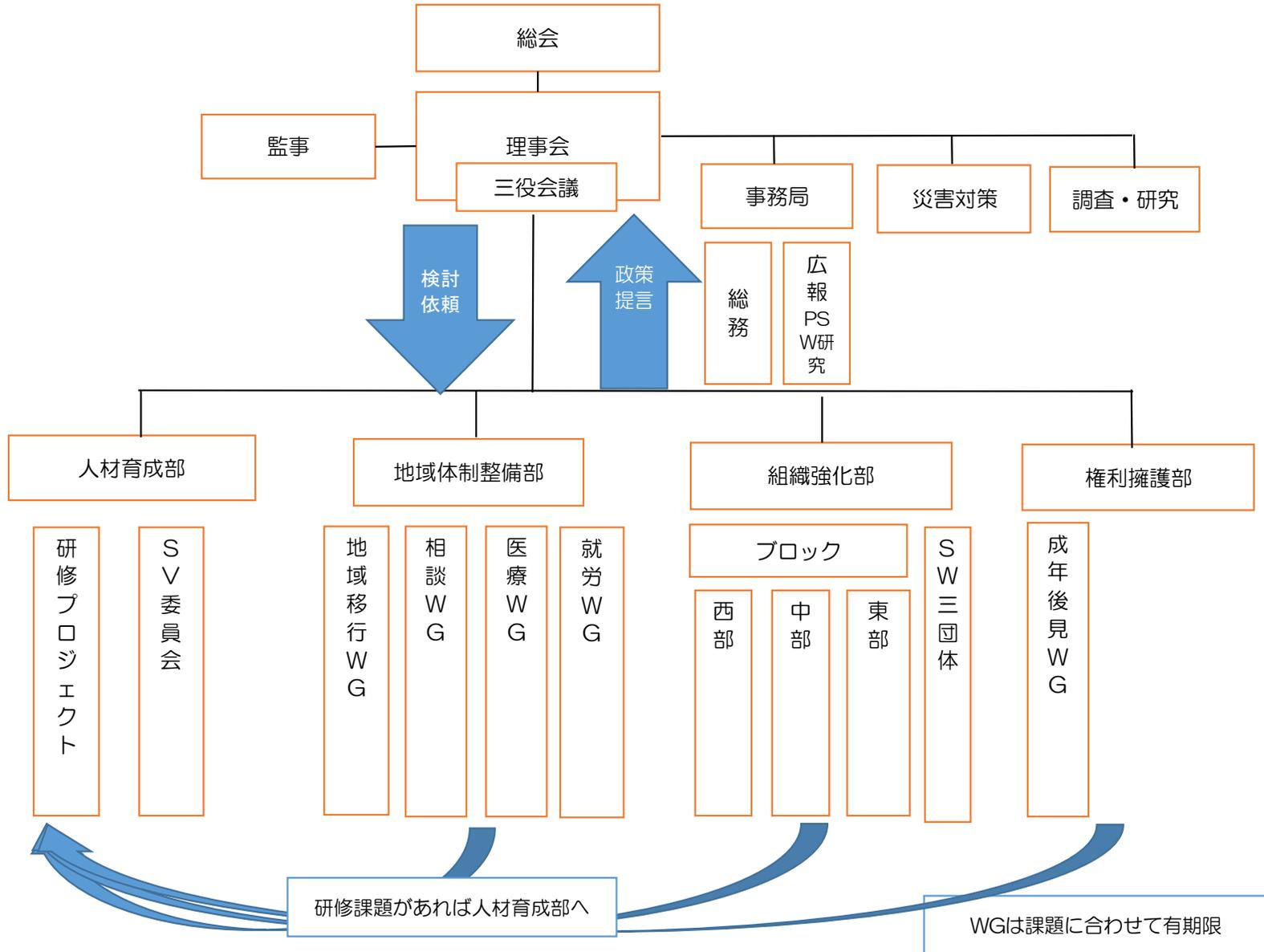
収入の部

科目	令和1年度決算	令和2年度予算	備考
<b>会費</b>	932,000	3,717,000	
当年度会費	815,000	3,507,000	7,000円×501名(4/1現会員数488+新入会20-前納7)
過年度会費	65,000	190,000	5,000円×38件
入会金	6,000	20,000	1,000円×20名
会費前納	46,000	0	
<b>事業費</b>	1,327,500	675,000	
総会時研修	0	0	
初任者研修	272,500	285,000	4000円×40名+2500円×10名+テキスト代2500円×40名
秋季研修	0	0	秋季研修開催予定なし
冬季研修	620,000	0	冬季研修開催予定なし
基幹研修Ⅰ	348,000	90,000	日本協会より90,000円
課題別研修	0	100,000	ブロック研修含む
その他の研修会等	87,000	200,000	地域移行研修等
支部活動協力費	406,500	406,500	日本精神保健福祉士協会より(前年実績参考)
委託事業	387,000	987,000	昨年度実績による
雑収入	8,747	4,388	利息等
繰越金	2,044,304	820,112	令和1年度より
<b>合計</b>	<b>5,106,051</b>	<b>6,610,000</b>	

支出の部

科目	令和1年度決算	令和2年度予算	備考
<b>事業費</b>	1,966,801	2,760,000	
会議費	488,403	540,000	
理事会・総会	396,425	400,000	理事会6回+三役会議+県庁への交通費等
研修プロジェクト	18,947	50,000	会場費、交通費等(令和1年度決算は研修委員会費用)
実習検討委員会	3,521	0	令和2年度委員会としての活動予定なし
PSW研究委員会	0	0	
災害対策委員会	9,020	30,000	会場費、交通費
関係3団体	60,490	60,000	会場費、交通費+SW実践研究会会費負担分
SV体制整備委員会	0	50,000	
研修費	1,432,932	1,200,000	
総会時研修	0	0	総会時研修実施予定なし
初任者研修	102,656	150,000	基幹研修Ⅰと同日開催
秋季研修	592,132	0	秋季研修開催予定なし
冬季研修	0	0	冬季研修開催予定なし
基幹研修Ⅰ	517,262	550,000	初任者研修と同日開催
ブロック活動/課題別研修	182,412	300,000	活動費50000円×3ブロック 研修費50000円×3ブロック
その他の研修会等	38,470	200,000	地域移行研修等
出版費/PSW研究	0	960,000	令和1年度、令和2年度発行分
印刷代	0	720,000	
テープ起こし校正費用	0	240,000	
ホームページ関連	45,466	60,000	管理費、プロバイダー料金
<b>事務費</b>	492,960	950,000	
消耗品費	45,439	500,000	コピー用紙、文房具等 会計ソフト導入経費、税理士契約経費(予定)、 口座引き落としシステム経費 等
通信費	447,521	450,000	郵送料・宅配料・携帯電話等
<b>事務局経費</b>	0	1,116,000	
人件費	0	1,000,000	パート事務員給与、臨時パート事務員給与(予定)
共益費	0	66,000	シズウエル共益費
交通費	0	50,000	昨年度実績による
印刷代	299,643	300,000	総会資料・つうしん・協会封筒
選挙事務	0	100,000	令和2年度は実施予定(平成30年度実績参照)
備品費	76,525	100,000	事務局備品(PC、プリンター複合機など)
諸会費	10,000	20,000	社会福祉協議会へ
交際費	6,680	20,000	他団体会議等への交通費
委託費	647,131	987,000	昨年度実績による
雑費	218,843	220,000	振込手数料等
予備費	567,356	37,000	
次年度繰越	820,112	0	
<b>合計</b>	<b>5,106,051</b>	<b>6,610,000</b>	

※但し、科目間の流用を認める。



## 【報告事項2】公益社団法人日本精神保健福祉士協会支部 活動報告

### 1. 2019 年度活動報告

#### 1) 定時総会の開催

構成員数 281 名のうち出席者 71 名、委任状 111 名の合計 182 名で総会成立

日時	2019 年 5 月 26 日 (日)	場所	グランシップ
議事内容	2018 年度活動報告及び会議等報告、2019 年度活動計画 理事会からの報告、支部長会議・ブロック会議からの報告等 ○決議事項として役員案について支部長より提案。質疑等なく賛成多数で可決 ○報告事項については質疑なし		

#### 2) 委員等の派遣

役職	氏名	所属
業務執行理事・第 3 副会長 組織強化・災害対策整備委員会 業務調査委員会 東日本大震災復興支援委員会 企画・政策会議	水野 拓二	鷹岡病院
全国選出理事 精神医療・権利擁護委員会	増田 喜信	三方原病院
代議員	鈴木 伸二	サポートセンターいとう
代議員 組織強化・災害対策整備委員会 災害対策委員	中村 倫也	静岡県立こころの医療センター
診療報酬委員会	澤野 文彦	沼津中央病院
	川島 菜己	鷹岡病院
業務調査委員会 クローバー運営委員会	山口 雅弘	鷹岡病院
研修企画運営委員会	水野 恵	コーポ狩野
分野別プロジェクトチーム 「認知症」	新田 怜小	サポートセンターほっと
災害対策委員	丸山祐貴子	鷹岡病院
	坪井明日香	特定非営利法人こころ
	小山友理子	三方原病院

### 3) 日本精神保健福祉士協会理事会・支部長会議・ブロック会議等への出席

会議	参加予定者	日程
定時総会	水野拓二、増田喜信 鈴木伸二、中村倫也	2019年6月23日
通常理事会	水野拓二、増田喜信	2019年6月22日・23日、10月19日・20日 2020年3月7日・8日
常任理事会 企画・政策会議	水野拓二	2019年4月13日・14日、5月18日・19日 7月20日・21日、8月29日、9月14日・15日 11月16日・17日、12月21日・22日 2020年1月18日・19日、2月15日・16日
都道府県支部長会議	澤野文彦、水野拓二	2019年4月14日
ブロック会議	澤野文彦、鈴木伸二 中村倫也、水野拓二 水野 恵、増田喜信	2019年9月29日 2020年2月23日
委員長会議	澤野文彦、水野拓二	2019年7月21日、2020年2月16日
ブロック災害対策 連絡会	災害対策委員	2019年12月1日

### 4) 基幹研修 I (初任者研修 1 日目として開催) 参加者 53 名 (基幹 I のみ 8 名)

日程	2019年7月13日(土)	場所	もくせい会館
内容	講義等(公社)日本精神保健福祉士協会の委託事業として実施する		
講義1	「公益社団法人日本精神保健福祉士協会の役割と課題」	水野拓二(鷹岡病院)	
講義2	「精神保健福祉士の専門性 I」	澤野文彦(沼津中央病院)	
講義3	「精神保健福祉士の実践論 I」	菅原小夜子(特定非営利活動法人こころ)	
演習1	「グループワーク」	司会: 中村倫也(静岡県立こころの医療センター)	

## 2. 2020年度活動計画

### 1) 定時総会の開催

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面開催で報告のみ行う

内 容:

報告事項・・・静岡県支部の2019年度活動報告及び会議等報告、2020年度活動計画

支部長会議・ブロック会議からの報告

日本精神保健福祉士協会2020年度事業計画、予算、代議員選挙報告等

### 2) 研修会への参加、協力

(1) 第56回公益社団法人日本精神保健福祉士協会全国大会(北海道大会)への参加

日時: 2020年9月11日~12日 → 開催1年延期

(2) 認定SVR養成研修

日程、参加者等未定 養成者の派遣

(3) 基幹研修 I (県初任者研修会と合同開催)

日程: 2020年10月3日(土) 場所: もくせい会館(静岡市)

内容: 講義等

### 3) 意見集約と情報提供の仕組みづくり

代議員に意見が集約されない課題や日本協会から情報提供を支部構成員へのできていない課題、静岡県精神保健福祉士協会と一緒に意見集約と情報提供の仕組みづくりを引き続き検討し、実行する。

4) 日本精神保健福祉士協会理事会・支部長会議・ブロック会議等への出席

会議	参加予定者	日程
定時総会	代議員 望月信吾、平野慎一郎 理事 水野拓二、増田喜信	2020年6月21日
通常理事会	未定	第1回 2020年7月18日・19日、 第2回 2020年11月21日・22日 第3回 2021年3月6日・7日
臨時理事会	水野拓二、増田喜信	現体制：第1回 2020年4月13日～24日 第2回 2020年5月18日～29日 第3回 2020年6月20日～21日
	未定	新体制；第4回 2020年6月21日 第5回 9月7日～18日 第6回 10月19日～30日 第7回 12月14日～25日 第8回 2021年1月25日～2月5日
理事による会合	未定	2020年8月29日～30日、10月24日～25日 12月19日～20日 2021年1月16日～17日、2月13日～14日
常任理事会 企画・政策会議	水野拓二	現体制：2020年4月18日、5月23日～24日
都道府県支部長会議	澤野文彦、水野拓二	2020年4月19日（中止）
委員長会議	未定	第1回 2020年7月19日 第2回 2021年2月14日
ブロック会議	澤野文彦 望月信吾、平野慎一郎	第1回 2020年9月27日 第2回 2021年2月7日

\*代議員以外は6月21日定時総会まで。6月以降の新体制は未定